

いじめSTOP愛顔の子どもフォーラム 教育長挨拶

〔平成27年12月19日(土) 13:00～
砥部町文化会館〕

皆さん、こんにちは。

「いじめSTOP愛顔(えがお)の子どもフォーラム」に参加してくれた、各市町小中学校の代表の皆さん、会を運営する高校生の皆さんにお会いすることができ、大変うれしく思っています。

今日は、皆さんの健やかな成長を願い、支援していただいている教育委員の皆さんも参加してくださいました。ご多用の中、ご出席ありがとうございます。

愛媛県では、平成25年度から、小中学校において、児童生徒の皆さん一人ひとりがいじめ問題にしっかりと向き合い、自らいじめをなくす活動に取り組むことを目的として、子ども会議を開催してきました。そして今年度は、県内全ての市や町で子ども会議が開催され、それぞれの学校では、皆さんが主役となっていじめ問題の解決や未然防止に向けて取り組んでいることと思います。

今日のフォーラムでは、小・中・高等学校の連携を深めながら、皆さんが主役となっていじめをなくすために「私たちは何をすべきか」をテーマとし、「かかわりあい、つながりあい、いじめSTOP」を合言葉に、いじめのない本当の仲間づくりを考えてほしいと思います。

さて、今月、私たち日本人にとってとてもうれしいニュースがありました。それは二人の日本人研究者がノーベル賞を受賞したというものです。そのうちの一人梶田隆章さんは、ニュートリノという宇宙の物質に関する研究でノーベル物理学賞を受賞されました。

このニュースを聞くと、梶田さんの素晴らしい功績にばかり目がいきがちですが、実はこの研究の陰には先輩や後輩との強い絆がありました。

梶田さんには、若くして亡くなられた戸塚洋二さんというニュートリノの研究で世界をリードした先輩がいました。梶田さんは受賞にあたり、戸塚さんに対して「絶えず研究を応援してくれていた」「皆を奮起させたエネルギーとリーダーシップを今も忘れられない」と感謝の言葉を述べています。

その一方で「たくさんの若い研究者の協力がなければできなかった」と述べ、後輩の研究者達は「梶田先生のリーダーシップがなければ、ここまでの成果にはならなかった」と述べています。まさに、思いを共有する先輩後輩の強い絆があったからこそ、今回の偉業が成し遂げられたわけです。

今日は皆さんにも、高校生をリーダーとして学校を越えた絆を深め、いじめをなくす大きな力を生み出してほしいと願っています。

もしかしたら、皆さんの友達の中にも、いじめによって心を痛めている人がいるかもしれません。

今日のフォーラムで学んだことを持ち帰り、皆さんから学校の仲間や地域の皆さんに伝えて、かけがえのない宝物である友達を互いに守りあう、強い絆で結ばれた学校づくり・地域づくりを進めてほしいと願っています。

最後になりましたが、児童生徒が参加するに当たり、ご協力いただきました市町教育委員会、PTAの皆様は厚く感謝を申し上げます。開会の挨拶といたします。